C1Live

2014.01.30 更新

グレープシティ株式会社

Copyright© GrapeCity, Inc. All rights reserved.

目次

ComponentOne Studio Live 更新ユーティリティの概要 1

Studio Live について 2

Studio Live 製品グリッド 3
Studio Live メニュー 4
Studio Live 更新ログ 5
Studio Live ステータスバー 7
Studio Live オプション 7
［フォルダの検索］タブ 8
［オプション］タブ 9
［警告］タブ 10
［プラットフォーム］タブ 12

更新の有無の確認 14

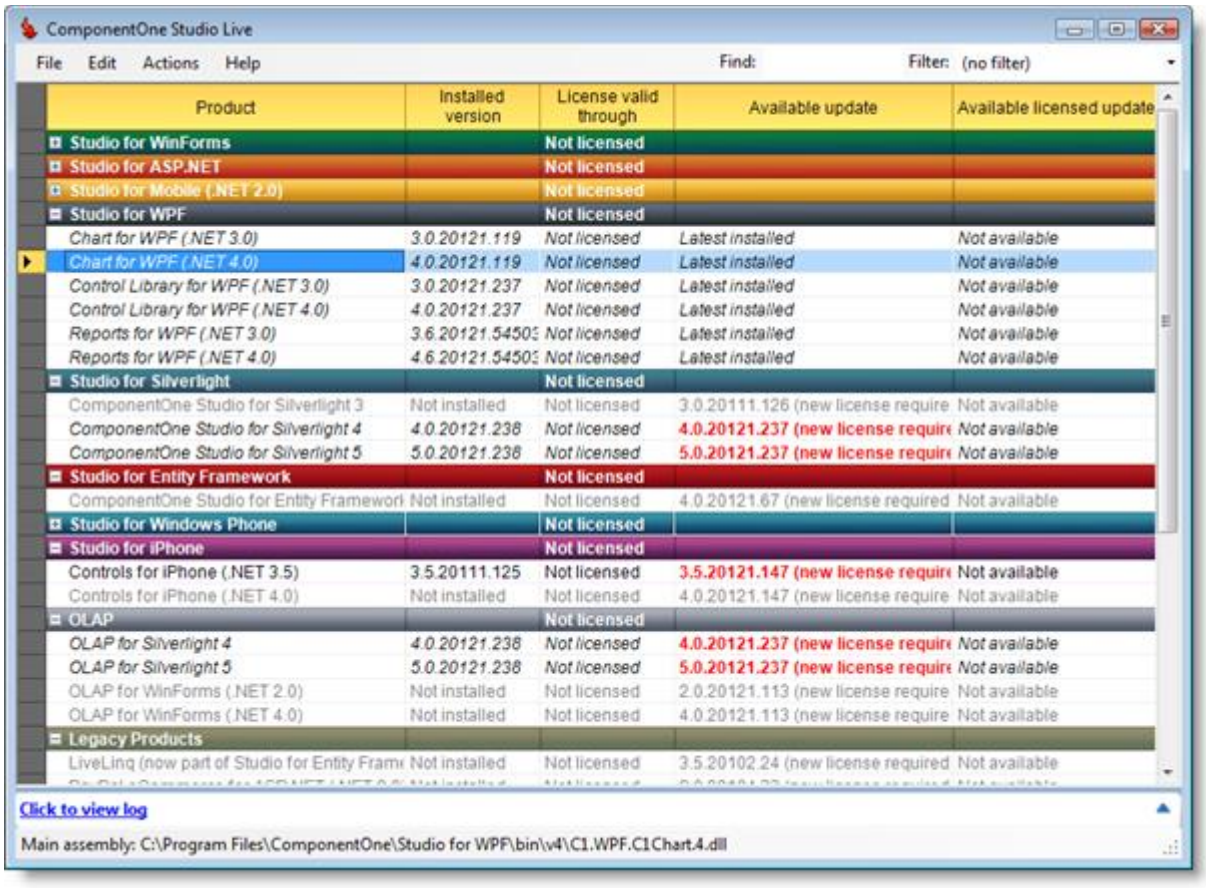
コンポーネント情報の表示 15

コンポーネントの更新 15

バックアップ 16
ログファイル 17
Studio Live の更新 17

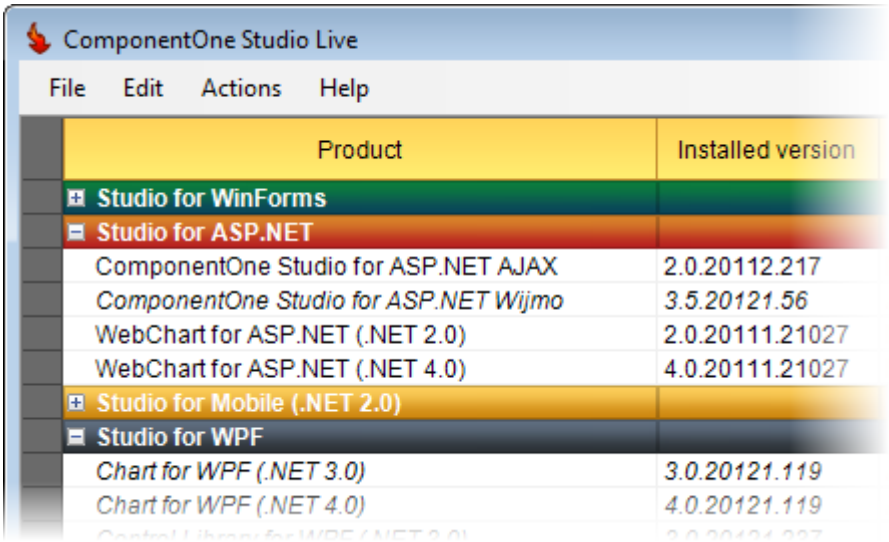
ComponentOne Studio Live 更新ユーティリティの概要

ComponentOne Studio Live は、最新バージョンの ComponentOne コンポーネントを検索してインストールするために、いくつかの ComponentOne 開発スイートで使用できる更新ユーティリティです。**Studio Live** を使用すると、最新の ComponentOne 開発コンポーネントがインストールされているかどうかを一目で確認し、ボタンをクリックするだけでコンポーネントを更新できます。インストールされているすべての ComponentOne 開発コンポーネントを即座に更新することもできます。

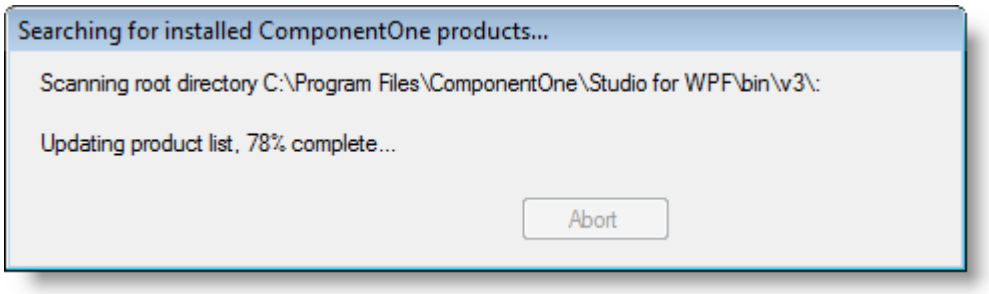


Studio Live について

ComponentOne Studio Live は、ComponentOne コンポーネントを最新の状態に保つ作業を簡略化します。**ComponentOne Studio Live** は、ロードされると、ComponentOne の .dll ファイルの場所をレジストリで確認し、マシンからそれらのファイルを読み取ります。次に、ComponentOne WinForms、ASP.NET、Mobile、Silverlight、Windows Phone、WPF、iPhone、OLAP、または Entity Framework 製品（レガシー製品を含む）のリストを製品グリッドに表示します。



デフォルトでは、**C1Live** は **C:¥Program Files¥ComponentOne¥C1Live** ディレクトリにインストールされます。**Studio Live** を別の場所にインストールした場合、この場所は異なります。最初にこのユーティリティを開くと、ファイルがスキャンされ、製品リストが更新されます。

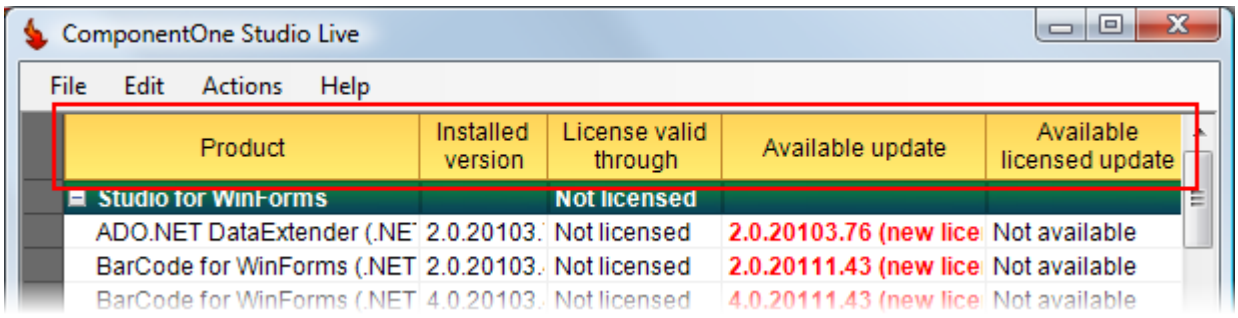


特定のプラットフォームを非表示にしてロード時間を短縮するには、「［プラットフォーム］タブ」を参照してください。このユーティリティがロードされると、インストール可能なすべての ComponentOne 製品が表示されます。

メモ： コンポーネントを更新する前に、Visual Studio のすべてのインスタンスを閉じることをお勧めします。Visual Studio は使用中のアセンブリをロックするため、これらのアセンブリを更新しようとするとエラーが発生します。

Studio Live 製品グリッド

ComponentOne Studio Live の中心は製品グリッドです。製品グリッドには、更新の有無をチェックできるインストール済みのすべての ComponentOne 製品がリストされます。グリッドにはいくつかの列があります。



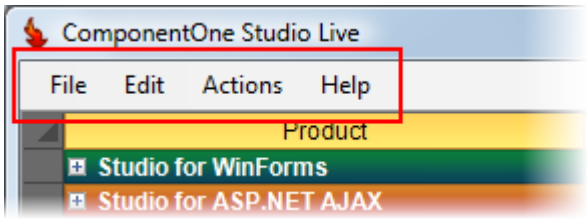
製品グリッドは、次の列で構成されます。

列	説明
製品	ComponentOne Studio または製品の名前がリストされます。
インストールされているバージョン	マシンに現在インストールされている製品のバージョンがリストされます。製品がインストールされていない場合は、［インストールされていません］と表示されます。
ライセンス有効期限	現在のシステムで製品がライセンスされる最後の期間（年およびリリース）が示されます。製品がライセンスされていない場合は、「ライセンスされていません」と表示されます。
提供中の更新	ダウンロードできる最新バージョンの製品が表示されます。太字フォントは、インストールされているバージョンより新しいバージョンがあることを示します。赤色のテキストは、更新するにはライセンスを更新する必要があることを示します。
ライセンスされている提供中の更新	現在のシステムで引き続きライセンスされる製品の最新のバージョンが表示されます。ここにリストされるバージョンは、［提供中の更新］列に表示されるバージョンより古い場合があります。

リストに表示されていない ComponentOne 製品がインストールされている場合は、**［ファイル］→［オプション］**を選択して**［オプション］**ダイアログボックスを開き、追加するファイルを選択します。詳細については、「Studio Live オプション」を参照してください。

Studio Live メニュー

ComponentOne Studio Live メニューはウィンドウの上部に表示され、コンポーネントをチェックしたり更新するためのオプションがここに表示されます。



メニューには、次のオプションがあります。

ファイル

［ファイル］メニューには、次のオプションがあります。

- **オプション**

  ［オプション］ダイアログボックスを開きます。詳細については、「Studio Live オプション」を参照してください。
- **終了**

  ComponentOne Studio Live ユーティリティを終了します。

編集

［編集］メニューには、次のオプションがあります。

- **コピー**

  現在アクティブなグリッドの選択した行からテキストをコピーします。たとえば、ある製品のインストールされているバージョン番号や提供中のバージョン番号を記録する場合に便利です。
- **すべて選択**

  現在アクティブなグリッドのすべての行を選択します。

アクション

［アクション］メニューには、次のオプションがあります。

- **選択した製品のチェック**

  選択した製品や Studio の更新の有無をチェックします。
- **最新のバージョンに更新**

  選択した製品や Studio を提供中の最新のバージョンに更新します。
- **ライセンスされている最新のバージョンに更新**

選択した製品や Studio を、ライセンスされている最新のバージョンに更新します。製品がライセンスされていない場合、このオプションは使用できません。

- **すべての製品のチェック**

  利用可能なすべての製品の更新の有無をチェックします。

- **すべての製品の更新**

  利用可能なすべての製品を更新します。

- **選択した製品のリリースノートの表示**

  選択した製品にリリースノートがある場合は、リリースノートをダウンロードして開きます。Studio または複数の製品が選択されている場合、このオプションは使用できません。

- **選択した製品のダウンロード**

  選択した製品のライセンスされている最新のバージョンをダウンロードします。

ヘルプ

［ヘルプ］メニューには、次のオプションがあります。

- **オンラインヘルプ**

  ComponentOne Studio Live のオンラインヘルプを開きます。［F1］キーを押してオンラインヘルプを開くこともできます。オンラインヘルプには、インターネット接続が必要です。

- **リリースノート**

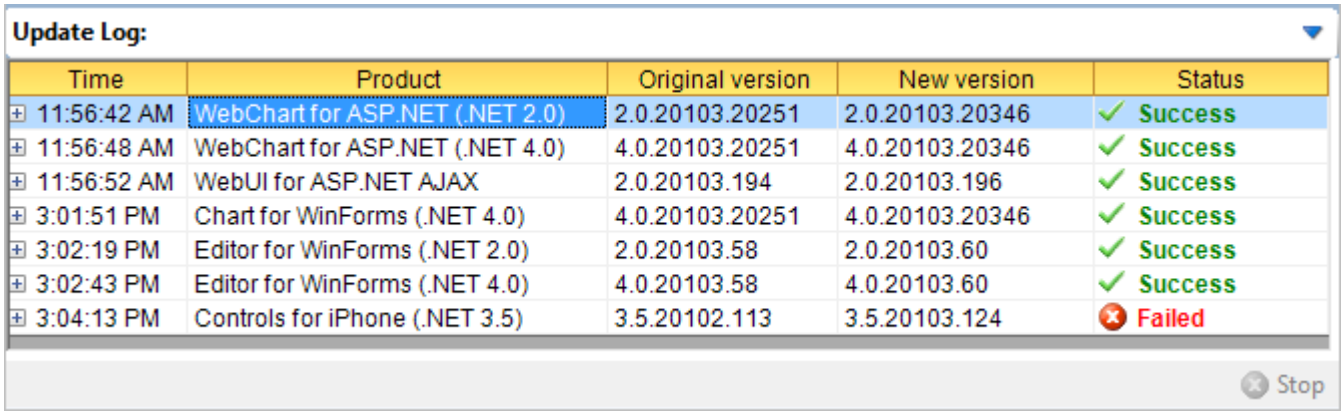
  ComponentOne Studio Live のリリースノートを開きます。このファイルでは、**ComponentOne Studio Live** 製品の変更と更新の内容が詳しく説明されています。

- **バージョン情報**

  ［バージョン情報］ダイアログボックスを開きます。**ComponentOne Studio Live** のバージョン番号とオンラインリソースのリンクが示されます。

Studio Live 更新ログ

更新ログには、現在実行中の更新と、Studio Live を使用している現在のセッションが開始されてから実行された更新がリストされます。完了した更新については、その詳細が表示されます。

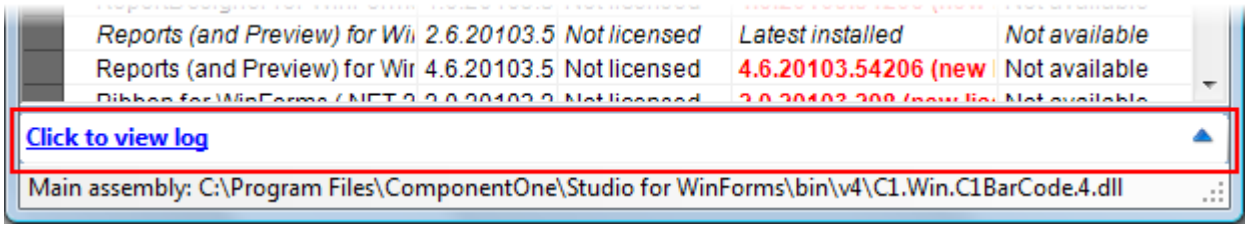


ログは、次の列で構成されます。

列	説明
時刻	更新の時刻がリストされます。
製品	更新中または更新済みの製品の製品名がリストされます。
元のバージョン	更新前のマシンにインストールされている製品のバージョンがリストされます。
新しいバージョン	Studio Live がインストールしようとしている製品または既にインストールした製品の新しいバージョンがリストされます。
状況	更新の状態が［処理中］、［正常に完了］、または［失敗］のいずれかでリストされます。

更新ログの詳細を表示するには、製品名の横にある［+］アイコンをクリックします。更新が失敗した場合は、その理由が詳細リストに記録されます。更新が成功した場合は、更新されたファイルと元のファイルのバックアップ先が詳細リストに記録されます。

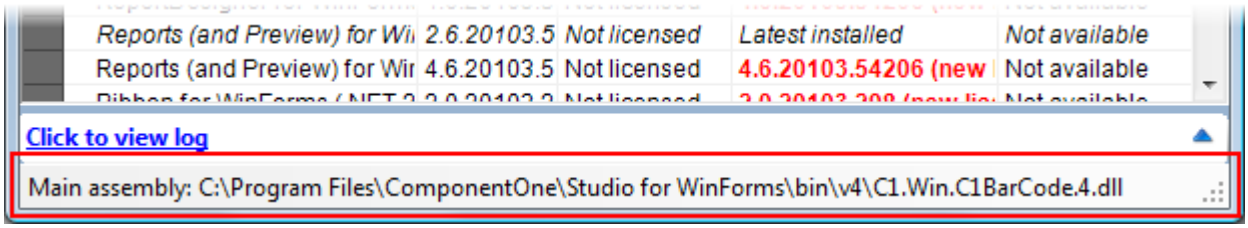
更新ログは、製品グリッドの下のペインに表示されます。**更新ログ**が表示されない場合は、製品グリッドの下でステータスバーの上にある**［クリックしてログを表示］**リンクをクリックするか、キャロット矢印アイコンをクリックします。



表示されている**更新ログ**を非表示にするには、ログの右上隅にあるキャロットアイコンをクリックします。

Studio Live ステータスバー

製品グリッドでインストール済みの製品が選択されている場合は、そのファイルのメインアセンブリがステータスバーに表示されます。

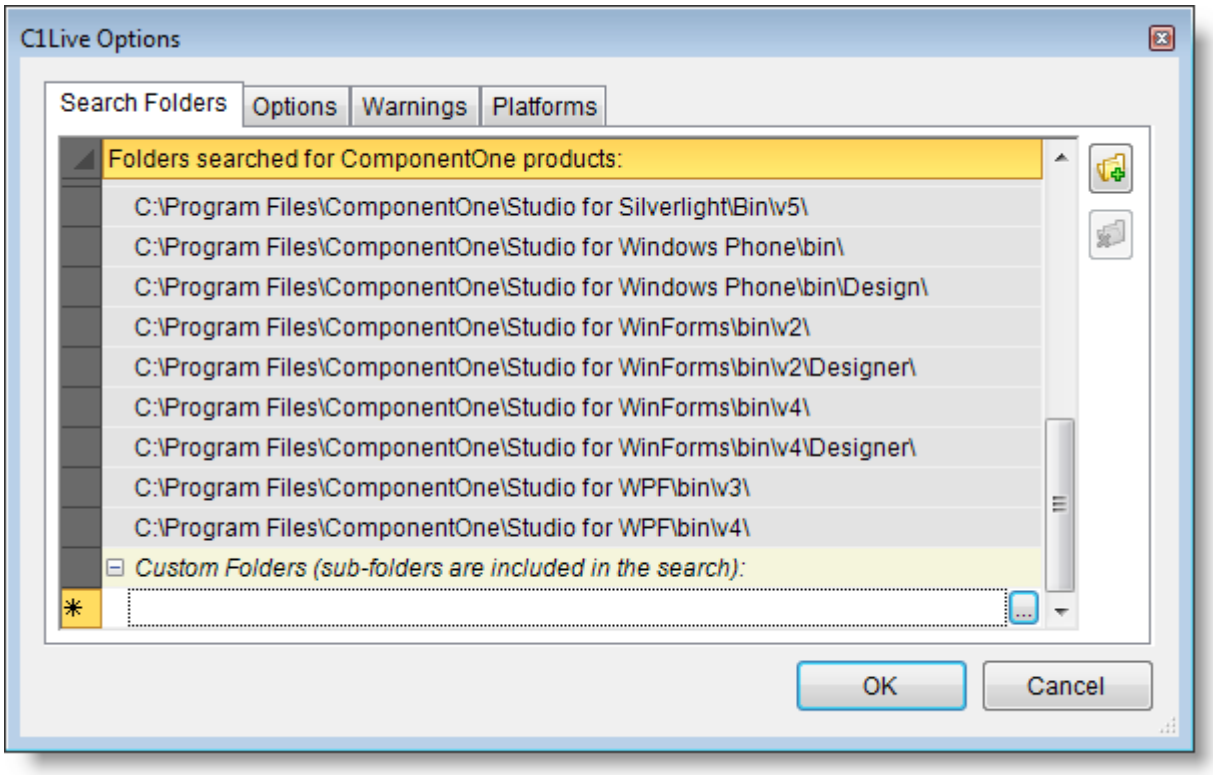


１つ以上の製品が更新されている場合は、その更新の進行状況がステータスバーにリストされます。

Studio Live オプション

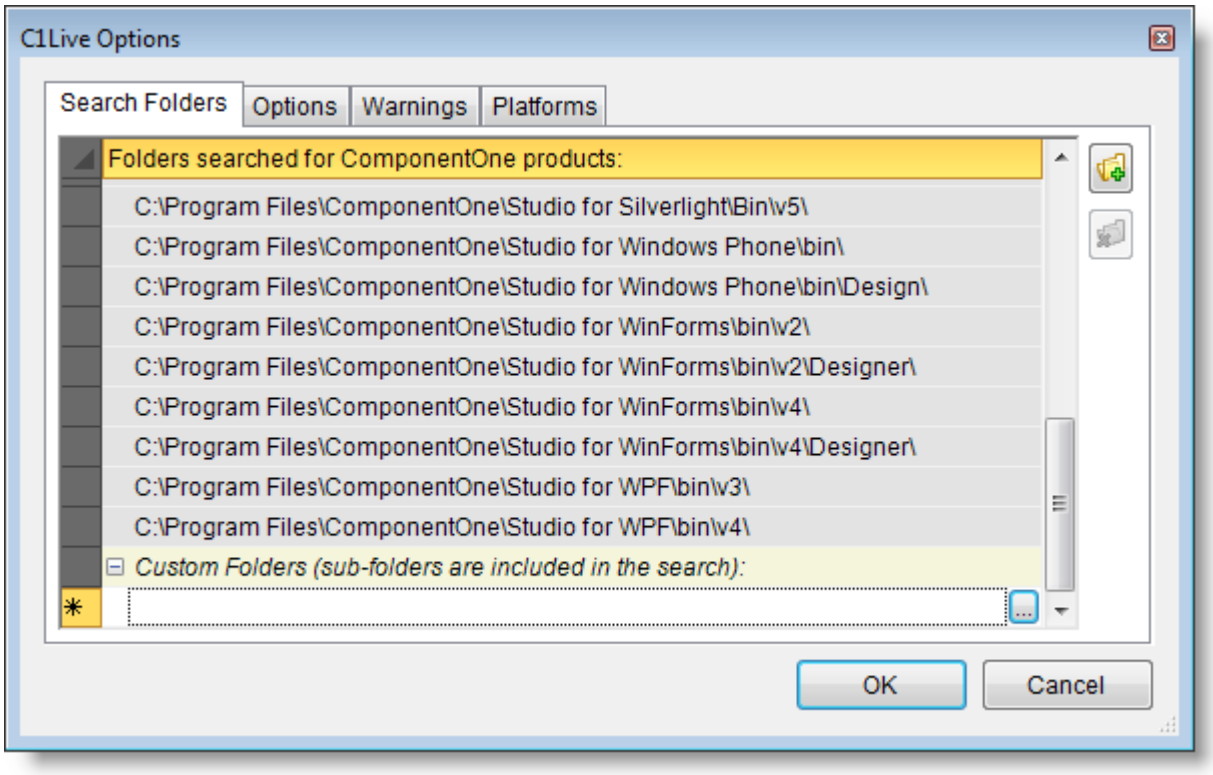
［C1Live オプション］ダイアログボックスにアクセスするには、**ComponentOne Studio Live** の**［ファイル］**→**［オプション］**を選択します。**［C1Live オプション］**ダイアログボックスには、**［フォルダの検索］**、**［オプション］**、**［警告］**、**［プラットフォーム］**の４つのタブがあります。オプションの詳細については、以下のトピックを参照してください。

ダイアログボックスは次の図のように表示されます。



［フォルダの検索］タブ

［フォルダの検索］タブでは、**C1Live** がアセンブリファイルを検索するフォルダを追加したり削除することができます。**［C1Live オプション］**ダイアログボックスを開くと、**［フォルダの検索］**タブが表示されます。



［フォルダの検索］タブには、Studio Live がインストール済みの ComponentOne 製品を検索する場所がリストされます。これらのディレクトリは、レジストリキー（灰色のエントリ）と、これまでにユーザーが追加したエントリから読み取られます。レジストリキーから検出される場所は、編集できません。**ディレクトリ**リストに表示されないディレクトリに ComponentOne 開発ツールをインストールした場合は、以下の手順に従って、そのインストールディレクトリの **¥bin** フォルダの場所を指定できます。

1. **省略符**ボタンが表示されていない場合は、ディレクトリリストの右にあるフォルダアイコンを選択して有効にします。
2. 適切なディレクトリを入力します。

- フォルダを参照するには、**省略符**ボタンをクリックします。**［フォルダの参照］**ダイアログボックスで、正しいフォルダを見つけて、**［OK］**をクリックします。

  または

- 最後のエントリの次の行をダブルクリックします。最後のエントリの次の行に完全パスを入力し、［Enter］キーを押します。ディレクトリが存在しない場合は、エラーが表示されるので、有効なパスを入力する必要があります。場所を追加しないで編集を終了するには、［Esc］キーを押します。

フォルダは、このタブの**［カスタムフォルダ］**リストに追加されます。リストされているディレクトリ（レジストリキーから検出されたディレクトリとユーザー指定のディレクトリの両方）のすべてのサブディレクトリも検索に含まれます。

［削除］ボタン

ディレクトリリストで現在選択されているカスタムフォルダエントリを削除するには、**［削除］**ボタン（［X］アイコン）をクリックします。

［OK］ボタン

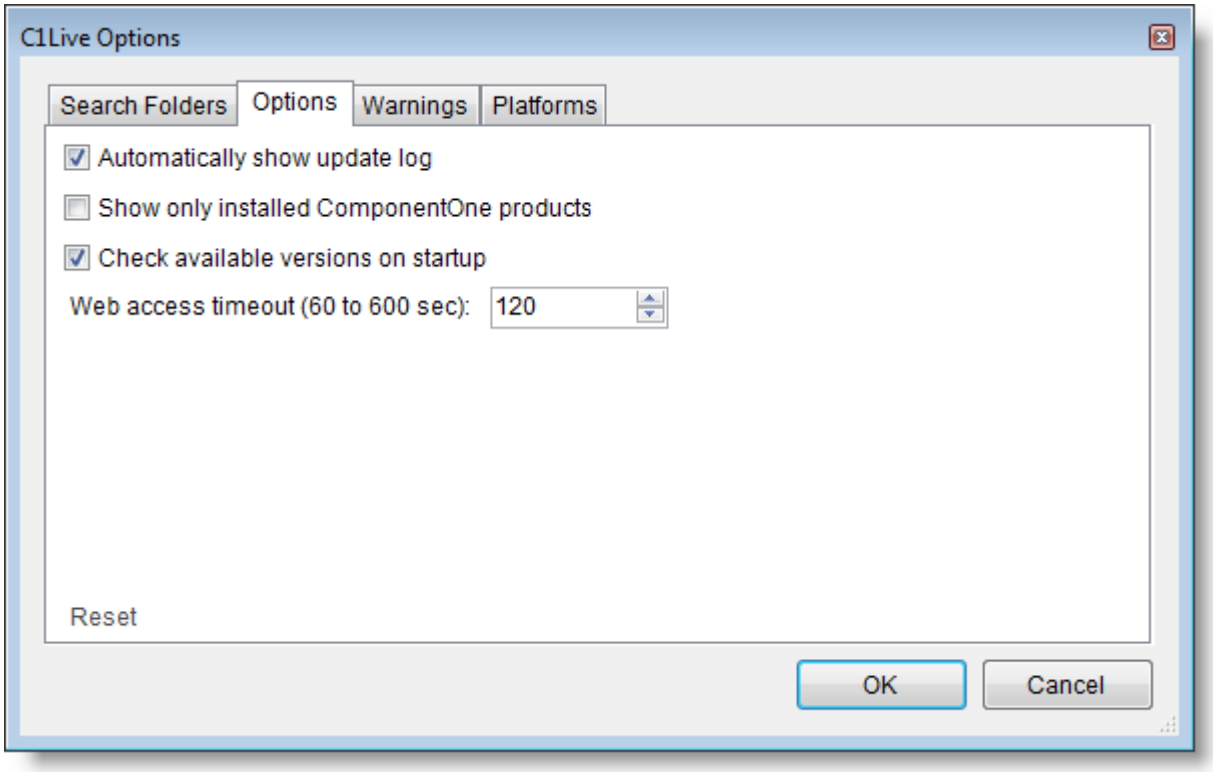
Studio Live オプションに行った変更をコミットするには、**［OK］**ボタンをクリックします。

［キャンセル］ボタン

Studio Live オプションに行った変更を破棄するには、**［キャンセル］**ボタンをクリックします。

［オプション］タブ

［オプション］ タブを使用すると、**C1Live** の外観と動作をカスタマイズできます。**［オプション］** タブは次の図のように表示されます。



更新ログを自動的に表示する

デフォルトでは、コンポーネントが更新されると、**更新ログ**ペインが自動的に表示され、更新プロセスが成功したかどうかが示されます。更新ログを自動的に表示しない場合は、**［更新ログを自動的に表示する］**チェックボックスをオフにします。

インストールされている ComponentOne 製品だけを表示する

インストールされている ComponentOne 製品だけをリストに表示するには、**［インストールされている ComponentOne 製品だけを表示する］**チェックボックスをオンにします。デフォルトでは、このオプションはオフで、Studio Live が認識しているすべての製品が（システムにインストールされていない製品も含めて）リストに表示されます。

提供中のバージョンをスタートアップ時に確認

［提供中のバージョンをスタートアップ時に確認］チェックボックスがオンになっていると、Studio Live ユーティリティはスタートアップ時に ComponentOne コンポーネントの新しいバージョンがあるかどうかを自動的に確認します。このチェックボックスをオフにした場合は、製品に提供中の更新があるかどうかを手作業で選択する必要があります。デフォルトでは、このオプションはオンです。

Web アクセスタイムアウト

C1Live Service への接続がタイムアウトになるまでの秒数（60 ～ 600）をここに入力します。デフォルトは **120** です。

［リセット］ボタン

選択したオプションをデフォルトのオプションにリセットするには、**［リセット］** をクリックします。

［OK］ボタン

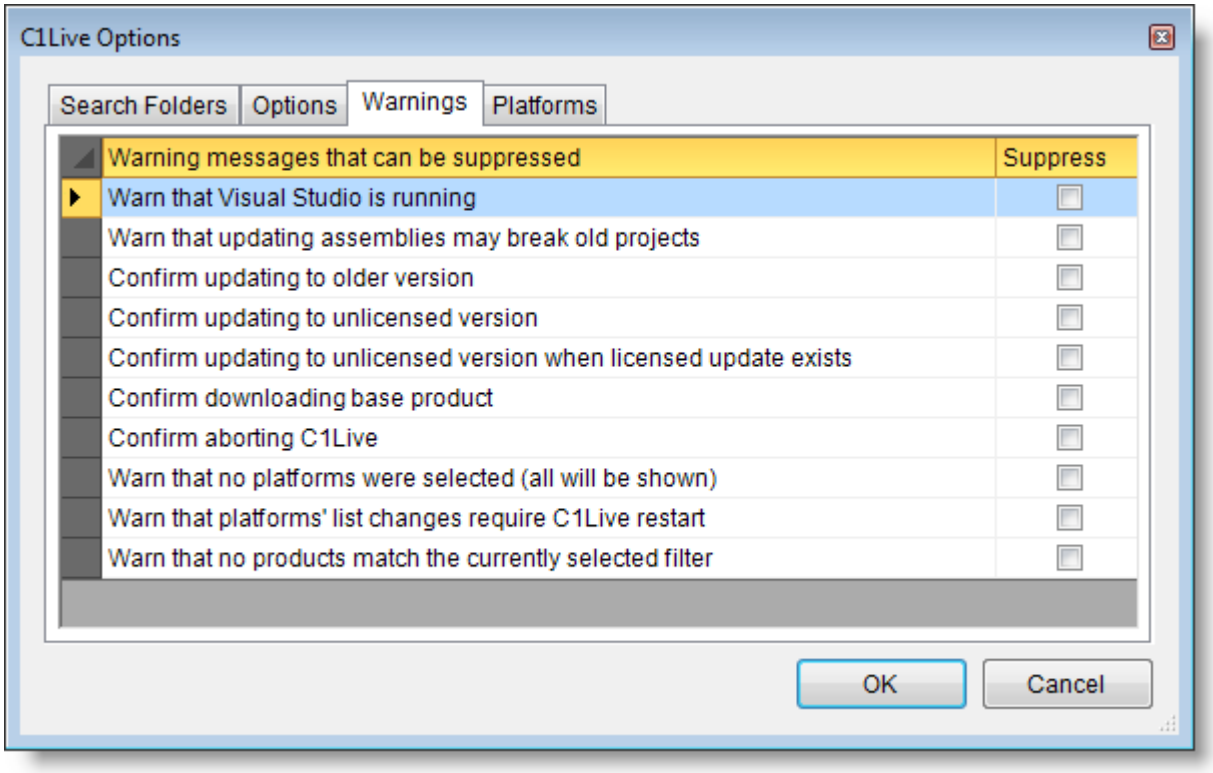
Studio Live オプションに行った変更をコミットするには、**［OK］** ボタンをクリックします。

［キャンセル］ボタン

Studio Live オプションに行った変更を破棄するには、**［キャンセル］** ボタンをクリックします。

［警告］タブ

［警告］ タブでは、**C1Live** に表示する警告を選択できます。**［警告］** タブは次の図のように表示されます。

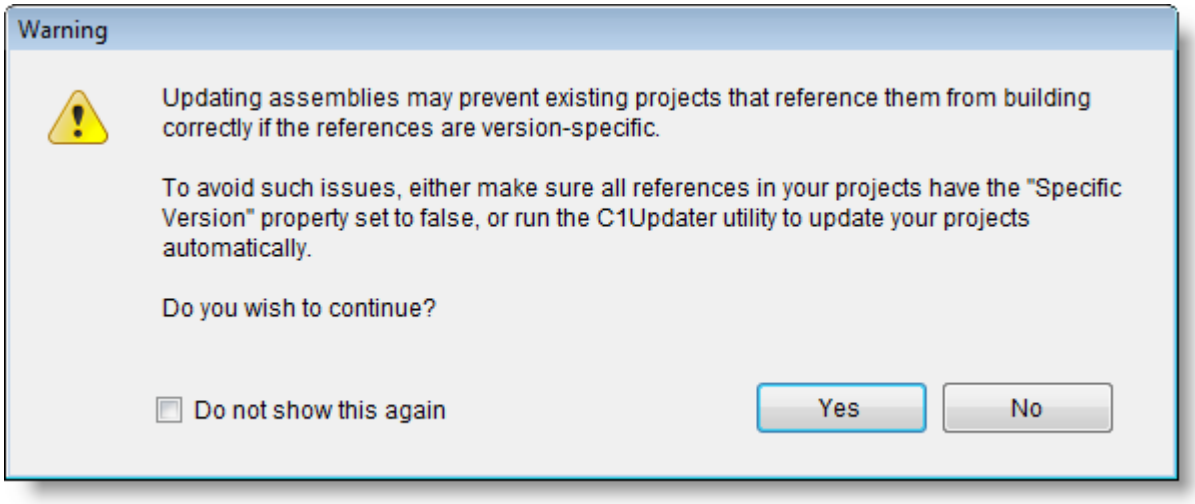


非表示にすることができる警告メッセージ

警告をリストに表示しないようにするには、**［非表示］**チェックボックスをオンにします。次の警告メッセージを非表示にできます。

- Visual Studio が実行中であることを示す警告
- アセンブリの更新が古いプロジェクトを壊す恐れがあることを示す警告
- 古いバージョンに更新することの確認
- ライセンスされていないバージョンに更新することの確認
- ライセンスされているバージョンが存在する場合に、ライセンスされていないバージョンに更新することの確認
- 基本製品をダウンロードすることの確認
- **C1Live** を中断することの確認
- プラットフォームが選択されなかった（すべてが表示される）ことを示す警告
- プラットフォームのリストの変更には **C1Live** の再起動が必要であることを示す警告
- 現在選択されているフィルタに一致する製品がないことを示す警告

それぞれの警告の動作は上に記述したとおりです。警告はダイアログボックスに表示されます。次に例を示します。



［はい］を選択する前に**［今後表示しない］**チェックボックスをオンにすると、次回からこの警告が表示されなくなります。非表示にした警告を再度表示する場合は、**［警告］**タグに移動し、その警告のチェックボックスをオフにします。

［OK］ボタン

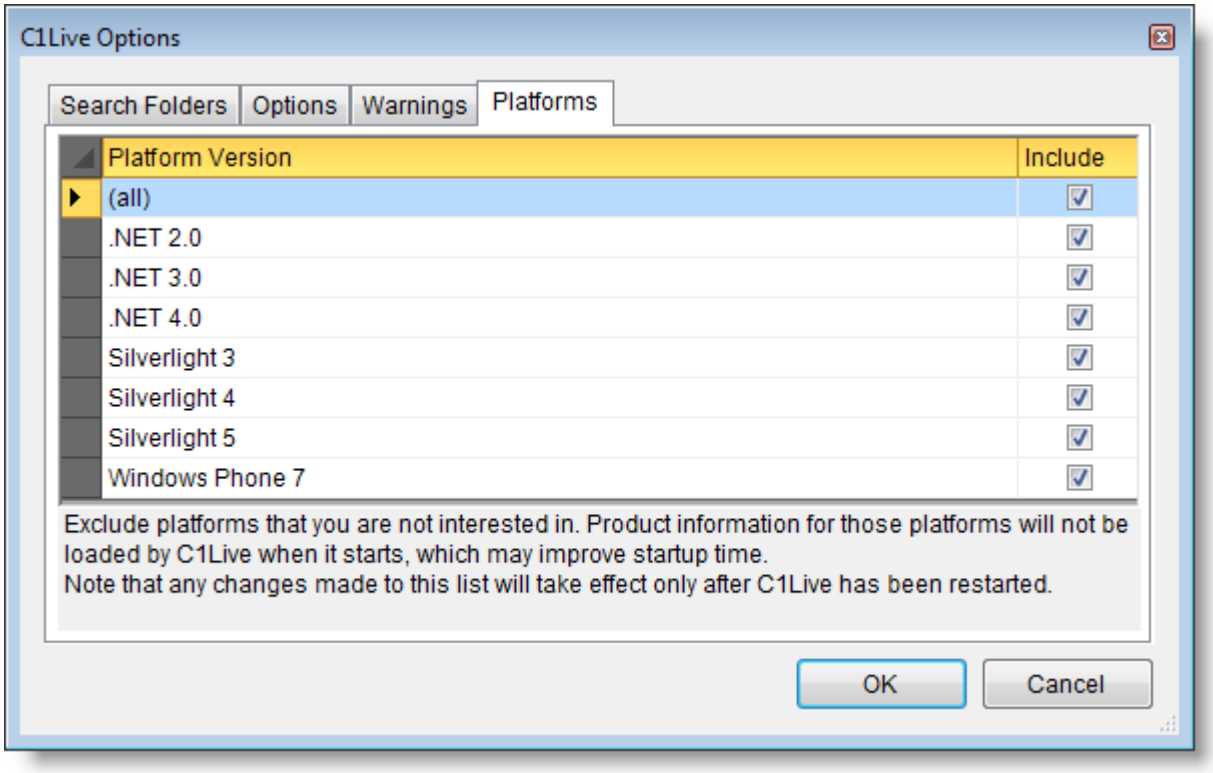
Studio Live オプションに行った変更をコミットするには、**［OK］** ボタンをクリックします。

［キャンセル］ボタン

Studio Live オプションに行った変更を破棄するには、**［キャンセル］** ボタンをクリックします。

［プラットフォーム］タブ

［プラットフォーム］タブでは、**C1Live** に表示するプラットフォームを選択できます。**［プラットフォーム］**タブは次の図のように表示されます。



デフォルトでは、有効なすべてのプラットフォームが選択されます。プラットフォームのチェックボックスをオフにすると、そのプラットフォームのコントロールを **C1Live** グリッドで非表示にできます。たとえば、特定のプラットフォームだけを主に使用していたり、それらのライセンスだけを所有している場合は、それらのプラットフォームだけを表示することができます。これは、**C1Live** ユーティリティの使用時に起動時間の短縮にもなります。このダイアログボックスで行う変更は、**C1Live** ユーティリティの再起動後に有効になります。

［OK］ボタン

Studio Live オプションに行った変更をコミットするには、**［OK］**ボタンをクリックします。

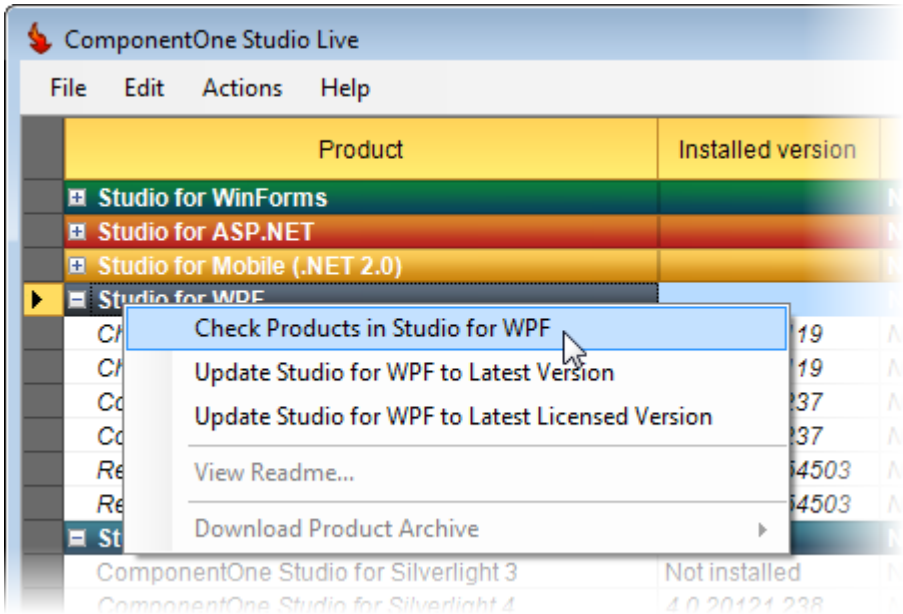
［キャンセル］ボタン

Studio Live オプションに行った変更を破棄するには、**［キャンセル］**ボタンをクリックします。

更新の有無の確認

バージョンの更新があるかどうかをすべての製品について確認するには、**［アクション］→［すべて確認］**を選択します。これは、ComponentOne Web サイトで、更新があるかどうかをすべての製品について確認します。

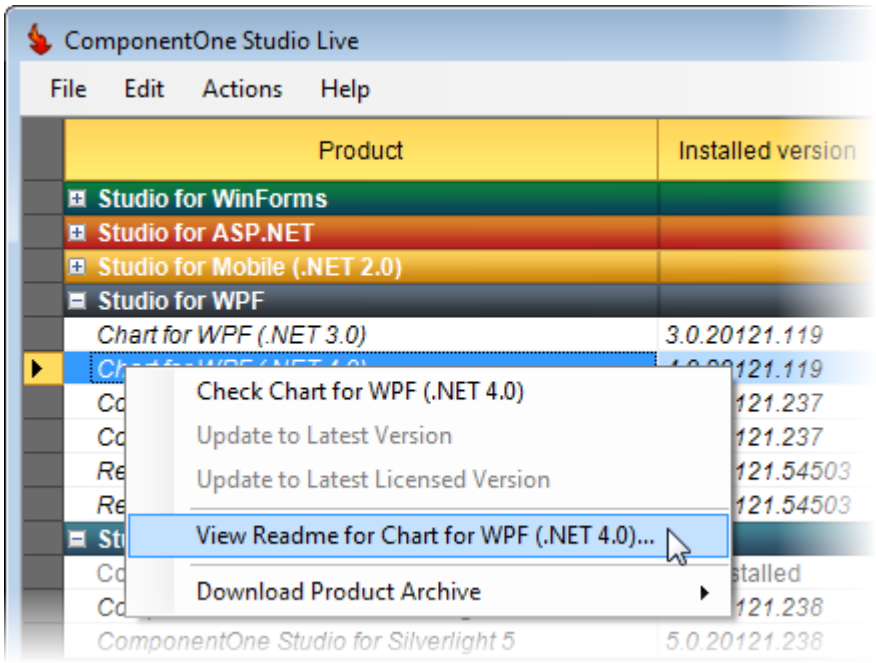
特定の製品または Studio を更新するには、製品リストでそれを右クリックし、その製品または Studio の**［確認］**オプションを選択します。



現在のシステムにインストールされている製品しか更新できません。言い換えれば、Studio Live は、製品をインストールすることはできません。以前にインストールされた製品を更新することしかできません。

コンポーネント情報の表示

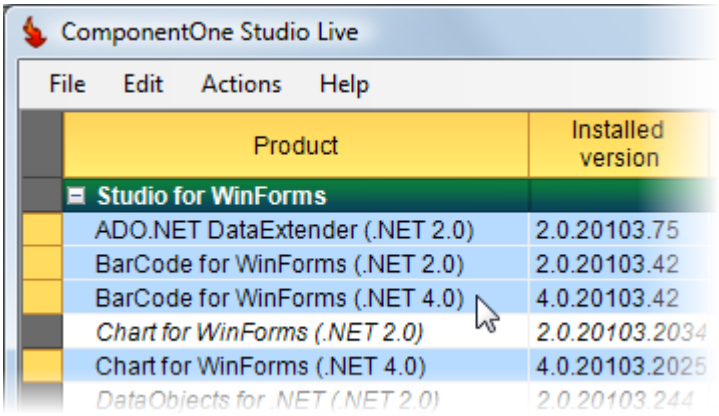
ある製品に対して提供中の更新について、詳細な情報が必要な場合は、そのコンポーネントを右クリックし、**［リリースノートの表示］**オプションを選択します。これで、現在選択されている製品に対して提供中の最新のビルドについて、そのリリースノートをダウンロードして表示できます。



コンポーネントの更新

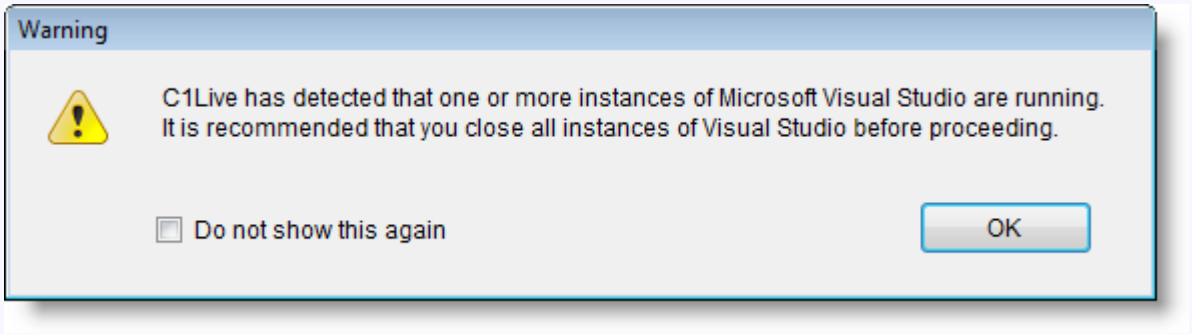
コンポーネントを更新するには、次の手順に従います。

1. 更新する製品または Studio を選択します。複数の製品または Studio を選択するには、［Ctrl］キーを押しながら、更新する項目をそれぞれクリックします。



2. 選択したコンポーネントまたは Studio を右クリックし、コンテキストメニューの**［選択した項目の更新］**オプションをクリックします。または、**［アクション］**メニューからコンポーネントを更新することもできます。すべてのコンポーネントを更新するには、**［アクション］**メニューの**［すべて更新］**を選択します。
   デフォルトでは、**更新ログ**ペインが表示され、各更新の進行状況と結果が示されます。

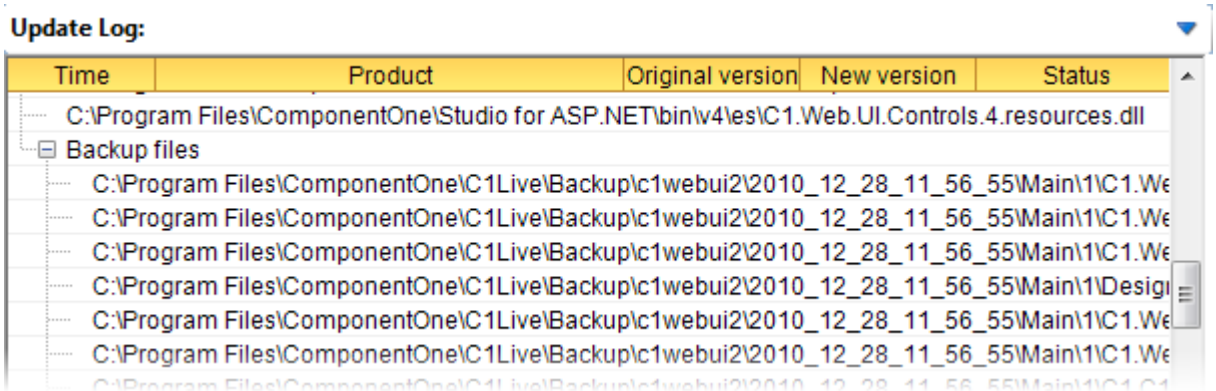
メモ： コンポーネントを更新する前に、Visual Studio のすべてのインスタンスを閉じることをお勧めします。Visual Studio は使用中のアセンブリをロックするため、これらのアセンブリを更新しようとするとエラーが発生します。Visual Studio の実行中に Studio Live を開くと、次の警告が表示されます。



すべての行を選択するには、**［編集］**メニューの**［すべて選択］**オプションを選択します。

バックアップ

ComponentOne Studio Live は、自動的に現在のコンポーネントファイルをバックアップディレクトリ **Backup** にコピーします。デフォルトでは、このフォルダは **C:¥Program Files¥ComponentOne¥C1Live** にありますが、**Studio Live** を別の場所にインストールした場合は異なります。**Backup** フォルダ内のファイルは、製品名と日付に基づいて整理されます。**更新ログ**ペインで更新された製品のノードを展開すると、バックアップされたファイルの名前と場所を表示できます。



ログファイル

更新ごとに、**Backup** フォルダにログファイルが置かれます。デフォルトでは、このフォルダは **C:¥Program Files¥ComponentOne¥C1Live** にありますが、**Studio Live** を別の場所にインストールした場合は異なります。**Update.log** ファイルが格納されるフォルダ構造は、製品の名前が付いたフォルダと、YYYY_MM_DD_HH_MM_SS 形式の更新日時が付いたフォルダから成ります。

Studio Live の更新

ComponentOne Studio Live は、ComponentOne 開発ツールだけでなく、自分自身も更新できます。**Studio Live** の更新がある場合は、起動時に、更新があるというメッセージが表示されます。**ComponentOne Studio Live** を更新するには、このフォームの**［OK］**をクリックします。引き続き現在のバージョンを使用するには、**［キャンセル］**をクリックします。

マシンで他の製品を更新する前に、**Studio Live** を更新することをお勧めします。**ComponentOne Studio Live** の更新には、新しいコンポーネントまたは現在のコンポーネントの新しいファイルに関する重要な情報が含まれることがあります。

ComponentOne Studio Live アプリケーションの更新履歴を表示するには、**［ヘルプ］**→**［更新履歴］**を選択します。